

デオキシリボースの代わりにリボース糖でこの構造を形成するのはほぼ不可能である。

これは、過剰にある酸素原子がファンデルワールス接触を近づけすぎためである。<sup>1)</sup>

以前に発表されたデオキシリボ核酸の X 線回折データは、我々が考案した構造の厳密な確認・テストには不十分である。我々が言える限りでは、これは実験値として、大まかな共用ができるものだが、より正確な値が調べられない限り、この構造は証明されていないものとみなされる。これらの数値の中には、将来の技術によって得られるものもあるだろう。我々はこの構造を考案したとき、得られた結果の詳細について特に考慮・意識していなかったため、この構造は、全てではないが、既出の実験値とステレオタイプな科学的主張に基づいている。

1) 下図から明らかなように、リボースのほうがデオキシリボースより酸素原子が多い。ファンデルワールス力を考慮すると、この過剰な酸素原子のためにリボースでは核酸の二重らせん構造を形成するのは不可能である、ということ。

